

プロジェクト・マネジャーのための ピープルマネジメントスキル育成カリキュラム ～DiSC(R)行動スタイル分析を活用したトレーニング～

プロジェクト・マネジャーには、多様なメンバーとの信頼関係を構築しチームを率いて成果を出すために、**ピープルマネジメント**のスキルが求められます。しかし、タスクマネジメントは十分学習しているものの、実際に現場に出てみるとチームビルディングにまず苦勞するという方は少なくありません。トレノケートではDiSC(R)（ディスク）行動スタイルの分析をベースにした**ピープルマネジメントスキル育成トレーニング**をご用意しています。

このような方におすすめ！

プロジェクト・マネジャーやリーダーなど、チームを率いる立場の方

- ✓ プロジェクト・マネジャーやリーダーになったばかりで、チームのマネジメントに不安がある。
- ✓ これまでの仕事の経験、考え方、価値観も異なるメンバーに対して、どのようにアプローチしていけば効果的なチームビルディングができるのか悩んでいる。
- ✓ 書籍や研修でタスク・マネジメントは十分に学習している。PMの資格も持っている。
しかし、実際に現場のプロジェクトチームを任せられ、メンバーを前にするとどのようにコミュニケーションしていけば良いのか戸惑ってしまう。

ピープルマネジメントとは？

組織の成果を最大化することを目的に、業績だけでなくメンバーの能力開発や成長を多面的に支援することで、メンバーのモチベーションとワークエンゲージメント（仕事に対して熱意・活力のあるポジティブで充実した心理状態）を高めるマネジメントスタイルのことです。
ピープルマネジメントにおいては、人の成長やモチベーションを引き出す、優れたコーチの役割が求められます。

ピープルマネジメントを実践のために求められるスキル

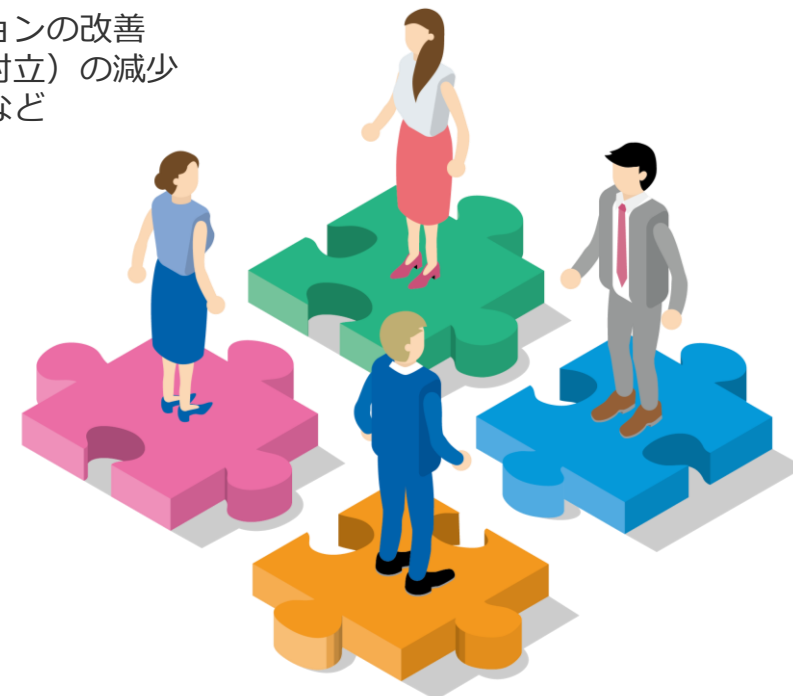
- ✓ メンバーに方向性（組織のビジョンやゴールイメージ）を示し、共有することができる
- ✓ メンバーと信頼関係（ラポール）を構築し、効果的なチームビルディングができる
- ✓ メンバーの話に共感し、傾聴できる
- ✓ メンバーの可能性を引き出し、成長支援ができる
- ✓ メンバーを承認し、やる気を引き出せる
- ✓ メンバーの仕事ぶりを観察し、的確なフィードバックができる
- ✓ メンバーの問題解決を支援できる

など

DiSC(R)とは？

1920年代に提唱されたDiSC理論をベースにした行動スタイルの分析ツールです。
自身や他者の行動スタイルを理解することにより下記の効果が期待され、チームビルディングに役立てることが出来ます。

- ・ 職場のコミュニケーションの改善
- ・ コンフリクト（争い・対立）の減少
- ・ 部下の効果的な育成 など



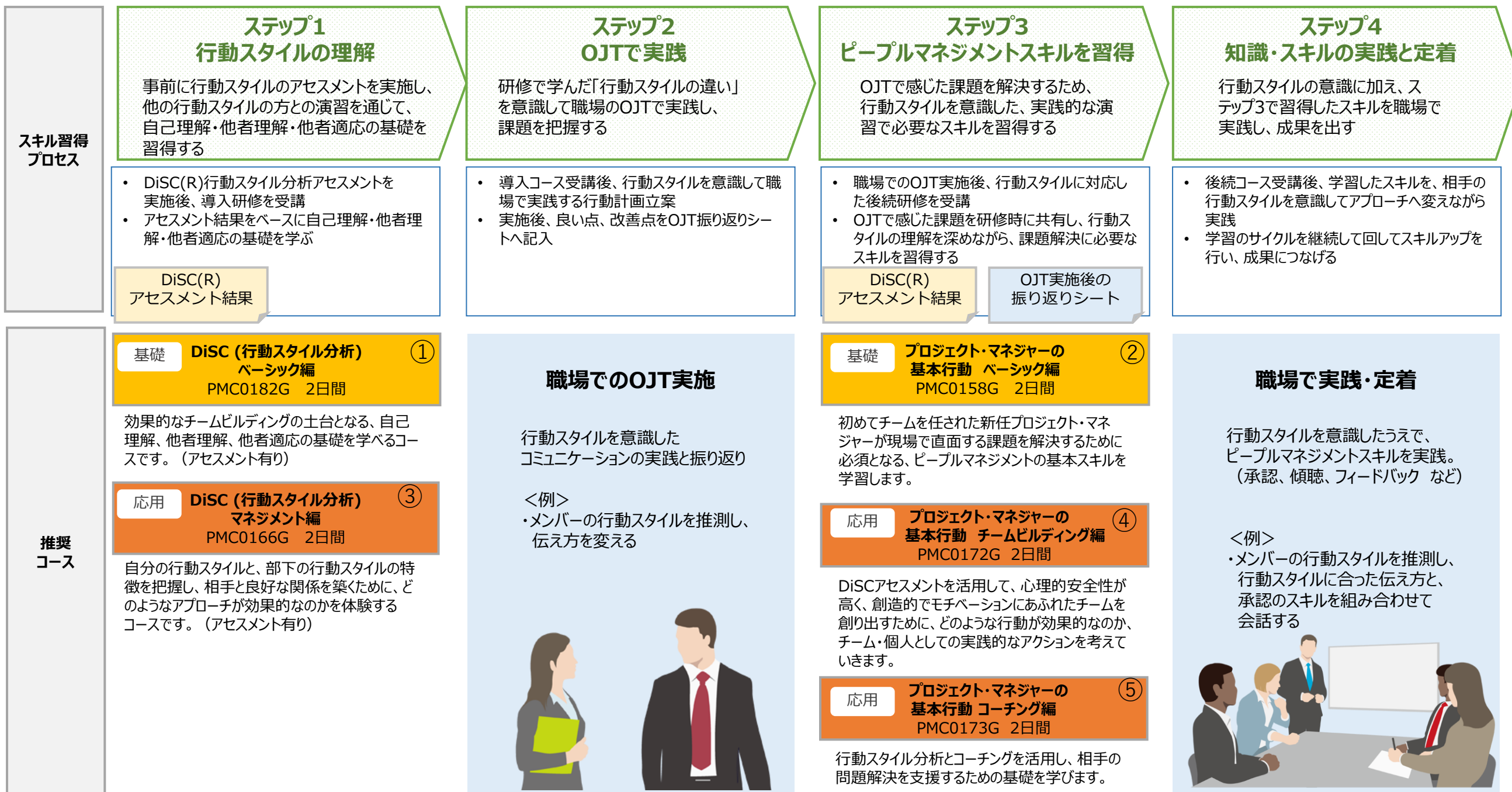
次ページ

ピープルマネジメントスキル育成カリキュラム

プロジェクト・マネジャーのための ピープルマネジメントスキル育成カリキュラム ～DiSC(R)行動スタイル分析を活用したトレーニング～

ピープルマネジメントスキル育成カリキュラム コースラインナップ

ピープルマネジメントに必要なスキルを身につけるためには、単に知識をインプットするだけでなく、現場で使える実践的なツールやトレーニングが必要です。具体的には、先に行動スタイルを理解し、課題を意識した上で必要なスキルを習得する、アクションラーニング型の4ステップが効果的です。



コース受講順序について

DiSC (行動スタイル分析)ベーシック編 (コースコード：PMC0157G) は、DiSC対応コースの前提条件として、最初に受講いただくコースです。
 DiSC(R)対応コースの受講をご検討の際は、まずはDiSC (行動スタイル分析)ベーシック編 をご受講ください。
 ・受講順序例 行動スタイルを意識したコーチングを学びたい場合：①DiSC (行動スタイル分析)ベーシック編→⑤プロジェクト・マネジャーの基本行動 コーチング編